

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

## 事業名 地域外来・検査センター設置運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 検査対策係 電話番号：058-272-1111(内 3849)

E-mail：[c11237@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11237@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 387,610 千円 (前年度予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	387,610	209,371	0	0	0	0	0	0	178,239
決定額	323,999	175,450	0	0	0	0	0	0	148,549

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・新型コロナウイルス感染症の来年度の検査体制は、帰国者・接触者外来設置医療機関等に加え、かかりつけ医等最寄りの病院や診療所等で検査を行う見込みである。
- ・かかりつけ医等では主に抗原簡易キットによる検査を行う想定だが、簡易検査の結果に寄らず、症状や周囲の発生状況から再検査を要する場合があります、この場合に地域外来・検査センターの活用が見込まれる。
- ・また、自院で検体採取ができない医院においては、従来通り、検体採取及び検査を行うために地域外来・検査センターを活用する場合もある。
- ・医師から検査が必要と判断された者について、確実に検査実施できるよう、引き続き地域外来・検査センターの運営を医師会等に委託し、運営する必要がある。

### (2) 事業内容

- ・地域の実情に精通している各地域医師会等が運営する地域外来・検査センターを継続運営し、PCR検査を必要とする患者等に適切な検査を実施することで、さらなる検査体制を強化するもの。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	169	職員旅費
需要費	5,762	個人防護具購入費
役務費	12	通信運搬費
委託料	381,667	センター設置・運営経費（医師人件費、簡易診療所設営経費等）
合計	387,610	

#### 決定額の考え方

所要額を精査し計上します。

### 4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・新型コロナウイルス感染症総合対策～「新たな日常」対策～

(2) 国・他県の状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（R2.5.25）
- ・次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について（R2.9.4）
- ・新型コロナウイルス感染症に関する検査体制の拡充に向けた指針（R2.9.15）

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症の発生状況、ワクチン開発及び接種状況等により判断される。

(4) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス検査の各地域医師会等への運営委託は、国からさらなる検査体制確立のために要請されているところであり、帰国者接触者外来等設置病院の負担を軽減し、まん延期の検査体制及び重症者に対する医療提供の確保の観点から必要不可欠なものである。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 新型コロナウイルス感染症対策としての検査体制確保のため、継続して検査業務を委託する必要がある。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	( H )	( H )	( H )	( H )	( H )	%
	( H )	( H )	( H )	( H )	( H )	%

**○指標を設定することができない場合の理由**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

**（前年度の取組）**

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 ・9カ所の地域外来・検査センターの設置・運営を医師会等に委託し、新型コロナウイルス感染症の検査を実施している。

**（前年度の成果）**

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
 ・9月17日現在で、合計2,331件の検査を実施しており、新型コロナウイルス感染症の迅速な診断を行う事ができた。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い	
(評価) ○	新型コロナウイルス感染症対策として、県民の健康被害を最小限に抑える上で、県内の感染拡大防止と検査体制の整備は極めて重要である。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	新型コロナウイルス感染症対策として、県民の健康被害を最小限に抑える上で、県内の感染拡大防止と検査体制の整備は極めて重要である。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある	
(評価) ○	県内の人口比率等を把握し、帰国者・接触者外来とのバランスを考慮しながらセンター設置に努めている。今後の検査体制の変更を受け、必要数の把握とさらなる充実を図っていく。

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。
--

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	